

玉城青少年の家改築基本計画に関する報告

生涯学習振興課

1 経緯

沖縄県立玉城青少年の家は築39年が経過し、鉄筋の腐食や外壁のひび割れ等の劣化も進んでいることから、3種類の調査（老朽化調査、耐震診断、劣化度調査）を実施したところ、改善の必要性が指摘され、県の老朽施設整備計画の建替対象施設となった。

このため、令和4年度中の開所を目指した「玉城青少年の家改築基本計画」を策定した。

2 計画の概要

現在、多目的広場として使用している場所に本館（宿泊室・研修室・体育館・事務室等）を移転した後、現施設を解体。解体後の跡地には新たな多目的広場を整備する。（現施設を稼働しながら敷地内別場所へ改築を行う「居ながら施工」とする。）

	現 在	改 築 後
定員	216人	200人
延面積	約3,349㎡ (本館2,851㎡、附属施設498㎡)	約4,750㎡ (本館4,131㎡、附属施設619㎡)
宿泊室	(大)28人×2室=56人 (小)20人×8室=160人	(大)32人×2室=64人 (小)8人×17室=136人
体育館	600㎡	760㎡
研修室	(大)1室(約110㎡) (中)1室(約83㎡) (小)1室(約41㎡)	(大)1室(約173㎡) (小)2室(約110㎡×2)



【配置案】
(敷地内移転)

3 今後の取組

今年度中に改築基本設計を終え、令和2年度に実施設計、令和3年度に改築工事に着手し、令和4年度内には工事を完了し、新たな施設として全面開所することを目標に取り組みを進める。（別添スケジュール案参照）

玉城青少年の家改築スケジュール(案)

